

点検支援技術性能カタログ (2024年4月)

国土交通省の点検支援技術性能カタログ「橋梁、トンネルの点検支援技術」に、下記の技術が掲載されました。

技術名

スマートフォンと360°カメラを用いた小規模橋梁の点検支援技術

技術番号：BR010072-V0024

本技術は、360°カメラで撮影した動画または静止画により小規模橋梁全体の損傷状態の概要を把握し、損傷の種類と場所を確認・抽出（スクリーニング）するとともに、損傷箇所についてはスマートフォンで取得した点群データまたはカメラ画像を用いたフォトグラメトリにより橋梁の3Dモデルを構築し、市販の点群処理ソフトの表示機能や計測機能を用いて、損傷（剥離・鉄筋露出等）の寸法を計測する技術です。

開発者：(株)IML, 福井コンピュータ(株), (公財)鳥取県建設技術センター, 東北大学IMC



計測装置

- ・360°カメラ (Insta360 ONE Rs)
- ・スマートフォン (iPhone14Pro)

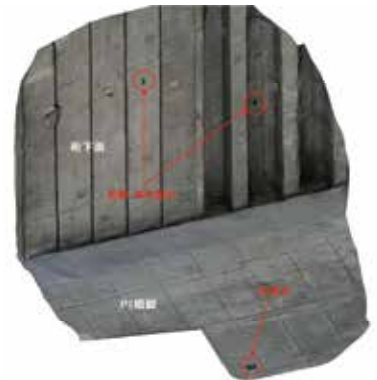


360°カメラでスクリーニング

損傷の種類・
場所の確認
(抽出)



iPhone3D スキャナアプリで写真撮影、点群データ取得



- ・損傷の種類、場所の確認
- ・損傷寸法の算出・出力

実証実験

宮城県仙台市

・2023年11月9日(木)



島根県

・2024年2月21日(水)



秋田県秋田市

・2024年3月14日(木)

